

様式第5号(第10条関係)

パブリックコメント実施結果報告書  
【案件名：つくば中心市街地まちづくり戦略  
(つくば駅周辺基本方針)案】

令和2年5月

つくば市 都市計画部 市街地振興課学園地区市街地振興室

## ■ 意見集計結果

令和2年2月1日から2月 28 日までの間、つくば中心市街地まちづくり戦略(つくば駅周辺基本方針)(案)について、意見募集を行った結果、19人(団体を含む。)から48件の意見の提出がありました。これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方をまとめましたので、公表します。

提出方法別の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数(団体を含む。)
直接持参	2人
郵便	0人
電子メール	1人
ファクシミリ	0人
電子申請	16人
合計	19人

## ■ 意見の概要及び意見に対する市の考え方

### ○第1章(2)つくば駅周辺の中心市街地状況と変化 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	中心市街地まちづくりビジョンでは、中心市街地を東西南北大通りに囲まれたブロックとしていたが、本方針では重点エリア・コアエリアに限定したのはなぜか。「中心市街地」とはどこか。	1件	市は、中心市街地をつくば駅を中心とした概ね東西南北大通りに囲まれたエリアと定義しています。「つくば中心市街地まちづくりヴィジョン」では、中心市街地全体のまちづくりの方向性を示しましたが、本戦略では、ヴィジョンに基づく持続可能都市の早期実現に向け、具体的なまちづくりを進めるエリアを設定しました。頂いたご意見を踏まえ、「3. (2) 中心市街地まちづくりの重点エリア及びコアエリアの設定」に新たな記述を加えました。

### ○第1章(5)つくば中心市街地まちづくり戦略(つくば駅周辺基本方針)とは について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	「ビジョン」に続く「戦略」の作成であれば、今後、つくば市が行う具体的な事業・取組(予算の裏付け	1件	「3. 中心市街地におけるまちづくりの基本方針」に示す「重点戦略」(何に取り組むか)と「重点エリ

	<p>も持つべき)、他機関・企業と連携して行う事業・取組等との関連性の説明が必要ではないか。現在の戦略は、具体性に乏しく、行政として具体的にどのように行動しようとしているのか何も理解できない。空洞化するつくば市の中心市街地は、企業・商業施設の誘致、土地利用の誘導、市にできるソフト・ハード施策などについて、関係機関・企業、市民、議会などと地道に調整・交渉を重ね、一つ一つ答えを出さなければいけないときである。実質的な戦略としての意味を持たないと思うので、具体的な事業、取組との関連がわかるように発表していただきたい。</p>		<p>ア) (どこで取り組むか)を整理し、「4. 実現に向けた施策展開」に概ね今後5年間に市が先頭に立って優先的に進める事業を「リーディングプロジェクト」に位置づけました。「つくば中心市街地まちづくりビジョン」に基づく持続可能と市の実現に向け、「つくば中心市街地まちづくり戦略(つくば駅周辺基本方針)」をもとに、市が「リーディングプロジェクト」に早急に取り組むことで、民間開発や市民主体のまちづくり活動の活発化など多様なまちのプレイヤーとの連携や主体的な活動を誘発してまいります。</p>
2	<p>つくば中心市街地まちづくり戦略とは、つくばの中心市街地が「ワクワクするまち」「訪れたいまち」「誇れるまち」となり、つくばの周辺地区のまちづくり運動までもリードし、プル・アップしていくための戦略であるべき。</p>	1件	<p>「つくば中心市街地まちづくりビジョン」に基づく持続可能都市の実現に向け、まちづくりの方針や具体化に向けた取り組みを定めたものです。まちづくりの方針として、「つくば駅周辺だけでなく、つくば市全体の活力が生み出されるまちづくり」を掲げております。</p>
3	<p>外見的な「活性化」にとらわれず、地域資源の再確認と発掘、活用を盛り込んだ本戦略については、概ね賛同できる。ただし、本件は地域住民が場に抱く「愛着」があってこそ実現し、持続性のあるものとなると考える。そのため住民は、場を創出するプレイヤーであり、利用者であるという位置づけを加えるべきではないか。つくば市自体が広い面積を持ち、分散化したそれぞれの地域拠点があった上での、中心市街地であるため、「徒歩圏住民」、「自転車圏住民」、「公共交通利用者」、「自家用車所有世帯」など、各主体によって接する回数</p>	1件	<p>「5. 戦略の推進に向けた市の考え」において、市民とのパートナーシップについて、市民と行政がパートナーとして協働することが重要であるという市の認識について記述しております。</p>

	やニーズが異なるであろうことから、距離によってその温度差が生じることが心配の種であるが、中心市街地と気負いすぎず「R8」のようなスタンスで、市民が共有出来ればよいのではないか。		
4	エリアの中の取り組みだけが記述されているが、だれのための戦略なのか。エリア居住者のものであるか、電車で来街された方のものであるか、エリアでの取り組みを考える一方で、このエリアにどのような手段で人を集めるのか、その手段をどのように提供するのか、モビリティの観点を欠いている。	1件	方針の1つに「つくば駅周辺だけでなく、つくば市全体の活力が生み出されるまちづくり」を掲げ、市内最大の交通結節点であるつくば駅周辺と市外や市内周辺部とのアクセス強化を図る取組方針(1-1-4 つくば駅周辺と市外・市内周辺部のアクセスの強化)を記述しております。
5	つくば市の目指す将来都市構造における「中心市街地」の位置づけに触れられていないのはなぜか。全体の中の部分であり、ハブアンドスポーク型都市構造の最重要ハブに求められる機能と、基本方針・プロジェクトとの関係がよく分からない。各方針・個別プロジェクトと、SDGs との対応は示さないのか。これを行うことで到達するゴールがよく分からない。そもそも、これだけの内容を中心市街地だけに持たせる必要がどれだけあるのか。葛城地区や周辺市街地にその機能があってもよいのではないか。	1件	つくば市の目指す将来都市構造については、「つくば市未来構想」や「つくば市都市計画マスタープラン」で示しているため、詳細の記載は割愛いたしました。頂いたご意見を踏まえ、「1. (4)市民が求める中心市街地像」に新たに記述を加えました。また SDGsの各 17 のゴールとの関連性については、「つくば市未来構想」と同構想の実現に向けた「第2期戦略プラン」で示しているため、詳細の記載は割愛いたしました。また、「2. 将来像とまちづくりのコンセプト」において、「つくば中心市街地まちづくりビジョン」を定めた考え方の背景について記述しております。

○第3章(1)2-2-2 ペDESTリアンデッキ沿道の賑わいあふれる街並みの誘導について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	市街中心部のペDESTリアンデッキに接する建造物のペDESTリアンデッキに面する階は商業施設または公共施設を入れることを義務化するべきではないか。	1件	「3. (1) 中心市街地まちづくりの基本方針」の「2-2-2ペDESTリアンデッキ沿道のにぎわいあふれる街並みの誘導」に市の考えを示しております。誘導方法については、今後検討を進めてまいります。

○第3章(1)2-2-3 自転車が快適に利用できる環境整備の推進について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	生活者としての自転車利用者にも向けたサービスとして、自転車コミュニケーションプラットホーム／自転車整備ステーションの設置を提案する。これは、ここを居場所として、市民が、自転車の修理・整備等のトレーニング、自在・安全・安心な市民交通手段のあり方を学ぶ場であり、ペDESTリアンデッキに面して、このステーションを設置することで、楽しく賢い自転車利用による健全なまちづくりの要の一つになるのではないか。	1件	重点戦略では、取り組みの方向性を記述しております。具体的な取り組みについては、引き続き検討していきます。

○第3章(1)4-1-4 つくば駅周辺と市内周辺部のアクセスの強化について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	公共交通機関や市民の交通手段として、バスやマイカーしか想定されていないが、コンパクトシティ・スマートシティの観点からも有用であることから、現時点では過大な投資となるが、魅力的なまちづくりを進めるため、モノレール、地下鉄、LRTなどの新たな公共交通機関の導入を検討するべきではないか。	1件	市では「環境モデル都市行動計画(つくば環境スタイル”SMILe”）」(平成26年4月)の取組の一つとして、まちづくりと一体となった新たな交通システム(BRTやLRT)の導入について検討してきましたが、多くの課題があり、具現化には至りませんでした。しかしながら、近年の交通に関する技術革新は自動運転等、めざましいものがあることから、新たな交通手段については、引き続き検討していきます。

○第3章(2) 中心市街地まちづくりの重点エリア及びコアエリアの設定について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	市の発展や居心地の良さ住みやすさにもっとも直結するコアエリ	1件	「3. 中心市街地におけるまちづくりの基本方針」に示す「重点戦

<p>アに人の流れを向ける必要がある。現在コアエリアに人が向かわない理由としては、まず、行く必要がないからである。市は、コアエリアに人が行く必要性を上げる取組を行うべきではないか。例えば、バスのターミナル化(必ずセンターで乗り替えなければいけないようにする)、つくばセンタービルや Bivi に市役所の窓口設置などが考えられる。また、世界でここにしかない空間を創出することも必要である。例えば、美術館と図書館の規模を倍にし、美術館については水戸芸術館や 21 世紀美術館のように、市外からも多くの来客を呼べるような先端的な運営に大きく変える。図書館については、仙台メディアテークのように種々の講演イベントなどを開催できるようなコミュニティスペースにする。中央公園については、他にない大規模遊具の設置し、遊べるようにすることや市民ギャラリーを「センスのある」民間業者を選定し、カフェなどにする、公園とエキスポセンター・図書館を分断しているペデを改修し公園の一部とすることなどが考えられる。</p>		<p>略」(何に取り組むか)と「重点エリア」(どこに取り組むか)を整理し、「4. 実現に向けた施策展開」に概ね今後5年間に市が先頭に立って優先的に進める事業を「リーディングプロジェクト」に位置づけ、コアエリアの拠点性を高めていきます。行政窓口設置や中央公園については、リーディングプロジェクトを進める際に、参考とさせていただきます。また、その他の取組アイデアについてもご意見も踏まえ、今後の参考とさせていただきます。</p>
---	--	--

○第4章(1)プロジェクト1 つくばセンタービルリニューアルについて

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>市民が活動できる生涯学習センターをつくばセンタービルに整備してほしい。</p> <p>つくば市生涯学習指導者としてたくさんの方の登録されており、つくば市出前講座、つくば人間学講座などを生涯学習センターで集約して開催することで住民により使いやすい形で提供されることが期待される。生涯学習センターは、時間に余裕のあるリタイア</p>	1件	<p>4. (1)リーディングプロジェクトのプロジェクト1において、「市民サービスを高めるため、現在のセンタービルに入居する吾妻交流センターや市民活動センターなどの公共施設の配置の見直しや機能向上を図る」と掲げています。頂いたご意見はリーディングプロジェクトの検討を進めるにあたり、今後の参考とさせていただきます。</p>

<p>世代などにも関心が高く、地域に根差した住民の社会参加を促進することも期待される。生涯学習センターを整備することにより、住民が継続的につくばセンターに足を向けるきっかけを形成し、近隣の商業施設での飲食等の消費活動の増加やリタイア世代の外出・生涯学習という生活習慣を生むことで、健康年齢維持、医療費削減にも寄与するのではないかと期待されるのではないかと。つくばセンターは、電車やバスで通える交通拠点でもあるため、公共交通の利用促進も期待され、後期高齢者が免許返納を選択する一助になることも期待されるのではないかと。</p> <p>また、運営方法は、各地区の交流センターのようなアナログの利用方法でもそれなりに活用されているかとは思いますが、先進都市つくばらしく、デジタルに使いやすい運営を提供してほしい。</p>		
<p>2 市民が主役で活動するまちに向け「つくばセンタービル1階全体」を『みんなでまちづくりセンター』にする</p> <p>今、つくば市が取り組んでいるSDGsで、ゴールとされていることが持続可能社会の実現だと解釈しており、これは中心も周辺も関係なく取り組むテーマであるとも考える。市民活動センターに登録している団体(NPO 法人、ボランティア団体など)、約 150 団体はすべて SDGs 17 のゴールに向けた活動を行っており、これらの活動は共生社会の実現でもある。持続可能社会の実現に向けた担い手の主役は市民の参加なしには考えられない。センタービルに来れば、その活動状況が実感として分かるようになれば、</p>	<p>1件</p>	<p>頂いたご意見については、リーディングプロジェクトの検討を進めるにあたり、参考とさせていただきます。</p>

	<p>大きなつくばブランドになり得ると考える。実現に向けた市民が主役になるべき機能として、①市民活動団体へのサポート機能と連携へのコーディネート機能、②全ての市民が参画できる社会の実現に向けたサポート機能(男女協働参画活動含む)、③子どもの育成相談機能、④国際交流へのサポート機能、⑤文化芸術活動へのサポート機能(市民ギャラリーの運営など)、⑥生涯学習機能(地域交流センター機能を含む)</p> <p>⑦誰もが交流できる機能(交流のための居場所)として複数の会議室、ロビーなどを備えた『みんなであちづくりセンター』を提案する。</p> <p>なお、ハード面の考え方としては、上記の機能を持つ場所としては、センタービル1階(通路面含む)の全面積を使えば実現可能であり、市民ギャラリーをセンタービル内に設けることで、現県営美術館の機能の大半が移ることになり、現美術館跡を狭すぎる今の図書館の拡充に使えるのではないかと。</p>		
3	<p>センタービルリニューアルにあたっては、ペデからの視認性が最も問題であり、ペデと面した部分全体を階段にして斜めに見えるように改修し、そのつながった空間を芝などで緑化することやつくばセンタービルもしくはセンター広場か Bivi に駅の入出口を作るべきではないかと。なぜなら、他の多くの都市を眺めると、人が自然と集まるのは自然が近くに存在する場所である。つくばセンターには自然が少ないので、くつろいだ気持ちになりにくい。</p>	1件	<p>頂いたご意見については、リーディングプロジェクトの検討を進めるにあたり、参考とさせていただきます。</p>
4	<p>つくばセンタービルリニューアル</p>	1件	<p>4. (1)リーディングプロジェクト</p>

	にあたっては、商業業務機能と住民票や印鑑証明等が受けとれる市役所出張所をいれてはどうか。		のプロジェクト1において、「市民サービスを高めるため、公共施設の配置の見直しや機能向上と合わせて、行政窓口等の新たな公共施設導入についても検討すること」を実施事項に掲げています。頂いたご意見はリーディングプロジェクトの検討を進めるにあたり、今後の参考とさせていただきます。
5	つくばセンタービル(アイアイモール)について 若い人や面白い人を集めるために、科学オタクに一坪テナントとして貸し出すことや筑波大学の研究グループに開放して、ショールーム化し、フォーラムなどで普段からロボットが動いている様子を見てもらえるようにしてほしい。	1件	頂いたご意見については、リーディングプロジェクトの検討を進めるにあたり、参考とさせていただきます。
6	「住民が主役」となる「つくばセンタービル 1階並びに広場」の再構築の提案 市民が日頃から集い、「市民力とソーシャル・キャピタル」の向上に寄与し、「つくば市のシンボル」となるよう、つくばセンタービル1階(アイアイモール)と広場を、「つくば市役所コミュニティ棟」のような市民の居場所にするべきである。 広場については、広場に面したセンタービルの各室から大きな庇を張り、音楽を流すことで、自由な語らい、団らんの場となるのではないか。また、アイアイモールについては、つくば市民活動センターを拡充し、つくば市民の健康・福祉等の相談室やキッズスペース、「市民の学食」のようなカフェ・レストランを設け、椅子や小さなテーブルが並べることで市民の居場所、市民の誇り、つくば市のシンボルとなるのではないか。	1件	頂いたご意見については、リーディングプロジェクトの検討を進めるにあたり、参考とさせていただきます。

○第4章(1)プロジェクト2 つくばセンター広場リニューアルについて

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>「住民が主役」となる「つくばセンタービル 1 階並びに広場」の再構築の提案</p> <p>市民が日頃から集い、「市民力とソーシャル・キャピタル」の向上に寄与し、「つくば市のシンボル」となるよう、つくばセンタービル1階(アイアイモール)と広場を、「つくば市役所コミュニティ棟」のような市民の居場所にするべきである。</p> <p>広場については、広場に面したセンタービルの各室から大きな庇を張り、音楽を流すことで、自由な語らい、団らんの場となるのではないか。また、アイアイモールについては、つくば市民活動センターを拡充し、つくば市民の健康・福祉等の相談室やキッズスペース、「市民の学食」のようなカフェ・レストランを設け、椅子や小さなテーブルが並べることで市民の居場所、市民の誇り、つくば市のシンボルとなるのではないか。</p>	1件	<p>頂いたご意見については、リーディングプロジェクトの検討を進めるにあたり、参考とさせていただきます。</p>
2	<p>つくばセンター広場の改修について</p> <p>つくばセンター広場で活動する中で感じた課題から、「モニュメントプラザとフォーラム全体を覆う大屋根の設置」、「照明の設置」、「音響・音響オペレーターの設定」、「スポット暖房」、「機材運搬動線改良のためモニュメントプラザの滝部分に車寄せスペース設置」等の大きな改造工事やイベントを実施しやすくする人材の配置が必要ではないか。これにより、天候や時間帯に関わらず各種イベントをマンパワーや予算の無いボランティア組織でも開催できるようにすることでセンタ</p>	1件	<p>頂いたご意見については、リーディングプロジェクトの検討を進めるにあたり、参考とさせていただきます。</p>

	一地区の活性化に寄与することができるのではないか。		
3	イベントの場が分散していて、その情報を得るのにも一苦労する。つくばセンター広場での催しですら、ペDESTリアンからは目に入らず道を歩いていけば、自然と情報が目に入るという作りになっていない。たとえば、つくばセンター広場を俯瞰で映すカメラを用意し、それがペDESTリアンから大型テレビなどで見られるようにするのはいかがか。	1件	頂いたご意見については、リーディングプロジェクトの検討を進めるにあたり、参考とさせていただきます。

#### ○第4章(1)プロジェクト4 地域と連携したパブリックスペースの活用について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	アルスとエキスポセンター間に位置する民有地の活用に向けた所有者への働きかけ、あるいは土地購入の検討を提案する。 この土地は昨年、つくばVAN泊に使われていたが、中心市街地でありながら長く塩漬け状態になっている。活用案は、この土地を東西に分け、東側をアルスの駐車場として、西ペDESTリアン側にカフェやレストラン、コンビニなどの店舗を誘導することはいかが。そうすることで、アルスへの車での利用者に対する利便性の向上に加え、中央公園を含むペDESTリアンデッキの賑わいや滞留性の向上など、周辺の魅力を高めることができるのではないか。	1件	3. (2) 中心市街地まちづくりの重点エリアにおいて、「重点エリア内で土地利用転換が見込まれる公有地や民有地についても、市は土地利用転換のタイミングを的確に捉えて周辺に配慮し、まちづくりの方針と合致した開発計画となるよう働きかけていきます。」と掲げています。頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。

#### ○第4章(1)プロジェクト5 中央公園リニューアルについて

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	中央公園リニューアルに関してつくば美術館のリニューアルも踏まえ、「おかざき世界子ども美術博物館」の親子造形センターのような	1件	茨城県つくば美術館は、美術普及活動の充実と県南・県西地域で本格的な展覧会を開催できる美術館として展示室の開放等が行われ

<p>施設が駅近くにあると子育て世代で賑わいを作れると思う。また、その際には、つくば市ならではの科学技術を使った造形施設などがあると特色が出て良いと思う。</p> <p>「おかざき世界子ども美術博物館」の造形センターのような施設は、子供の想像力を育むし、それが最新の技術へとつながっていくので、最新技術を全面に出しているつくば市にふさわしいのではないかと。このような施設ができることにより、つくば市に不足している文化的な側面を補うとともに、新たな雇用なども生み出すことができる。</p>		<p>ているところです。中央公園と図書館、美術館の連携も含め、頂いたご意見については、リーディングプロジェクトの検討を進めるにあたり、今後の参考とさせていただきます。</p>
---	--	---

○第4章(1)プロジェクト6 官民連携によるエリアマネジメントの推進について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>エリアマネジメント団体の詳細は別途検討されると思うが、地域住民自身がプレイヤーとなれば、「自分たちの大切な場所」という意識が芽生え、持続可能となるため、企画者として参入できる仕組みやハード的な部分について改善点を提案し、共有できる総会的な場が必要ではないか。そうすることで、中心市街地で様々なイベントを企画している事業所や NPO・市民などの実施者が抱える建物や保管庫、駐車場などのハード面の不足部分について協議を重ねて改善していくことができるのではないかと。</p>	1件	<p>頂いたご意見については、リーディングプロジェクトの検討を進めるにあたり、参考とさせていただきます。</p>
2	<p>エリアマネジメント設立団体の運営について</p> <p>公開性・透明性を担保し、市民が評価に参画する組織構成を行うよう望む。社会環境は時の流れとともに変容していくので、組織運営も継続的でありながら流動的であることが必須であり、持続あるまちづくり</p>	1件	<p>頂いたご意見については、リーディングプロジェクトの検討を進めるにあたり、参考とさせていただきます。</p>

	実現に向け、その対応も盛り込んでほしい。		
3	官民連携のまちづくりの官民連携の「民」は「市民」を指すのか。文脈からは民間事業者を指しているように察するが、疑う余地なくこれからは市民の強い関わりが重要になるのではないか。	1件	「5. 戦略の推進に向けた市の考え」において、市民とのパートナーシップについて、市民と行政がパートナーとして協働することが重要であるという市の認識について記述しておりますが、今後プロジェクトの各段階に応じて多くの市民が主体的に参画できる機会を設けることを検討していきます。

○第4章(1)プロジェクト8 つくばの玄関口のおもてなし機能向上について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	「プロジェクト 8 つくばの玄関口のおもてなし機能向上」の実施事項として、「サイクリスト向けサービスの向上による市内の回遊促進」があるが、サイクリストだけでなく、ランナーや、ウォーキング、または筑波山や宝篋山への登山者などを合わせて、もてなす機能を持つべきではないか。具体的には、つくば駅周辺にシャワー施設や、更衣室、ロッカー施設を増やせば、飲食に立ち寄る方も多くなり、持続的な発展に繋がると考えるので、検討してほしい。	1件	日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとして国内外にPRを行い、サイクルツーリズムを強力に推進していく「ナショナルサイクルルート」として国から「つくば霞ヶ浦りんりんロード」が指定された機運をさらに高めるため、実施事項として項目に挙げました。頂いたご意見については、リーディングプロジェクトの検討を進めるにあたり、今後の参考とさせていただきます。
2	「つくば市」の顔となる場所なので、外国人や障がい者、来街者、もちろん市民にも優しいまちづくりとして、段差をなくして、車いすでもスイスイ歩けることやたくさんのベンチ、看板(案内板)などがあることが必要ではないか。	1件	これまで、つくばエクスプレス開業に合わせて、「第1期都市再生整備計画」において、人にやさしい歩行者空間の再整備としてベンチの設置や案内板整備等を進めてまいりました。「3. (1) 中心市街地まちづくりの基本方針」における方針2「まちの特徴・資源をいかした視点」に、「ペDESTリアンデッキや公園・広場に、ユニバーサルデザインに配慮した人が憩える空間や滞留できる空間を創出する」と掲げており、今後の再整備にあたっては引き続き、配慮し取り組んでまい

			ります。
--	--	--	------

### ○第5章戦略の推進に向けた市の考えについて

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	以前、県知事が「(つくば市を)eスポーツの聖地にしたい」と述べていることや、TM ライナーの増便を実施していることから県はつくば市に高い関心を持っていると思うので、これからはより一層、県と協力していく必要があるのではないかな。	1件	「5. 戦略の推進に向けた市の考え」において、多様な主体とのパートナーシップについて、多様な主体と互いに連携することが必要であるという市の認識について記述しております。今後も茨城県とは、密に連携を図ってまいります。
2	このような案を実現に向けて実行する際に、まず重要なのはコミュニケーションである。どのような案であっても、それが実現される過程において、関係者、各ステークホルダーの協力が必要となる。その際に必要になるのは、おおまかな方向性において、なぜ、どのように、どのくらいの期間で、実現させようとしているのかについての納得が重要であり、この納得感をどう作るのかが鍵になると考える。検討の過程で実行できなかったことに関しても、最低限納得できる情報は出すべきではないかな。	1件	「5. 戦略の推進に向けた市の考え」において、多様な主体とのパートナーシップや市民とのパートナーシップについて、市の認識について記述しておりますが、今後プロジェクトの各段階に応じて多くの市民が主体的に参画できる機会を設けるためにも必要な情報の公開・提供に努めてまいります。
3	多くの案について、行政が案を出し、それを住民が受け入れるかどうか検討するという構造になっているのが気になる。計画段階から案が公開され、適宜住民からの案がフィードバックされて、最終的な計画が出来上がれば、住民の側にも自分たちが作った案という気持ちが生まれるのではないかな。ハッカソンやアイデアソンのような共創の場を通じて、住民の意見を元に場を作れば、それは住民の強い納得につながるのではないかな。	1件	「5. 戦略の推進に向けた市の考え」において、市民とのパートナーシップについて、市民と行政がパートナーとして協働することが重要であるという市の認識について記述しておりますが、今後プロジェクトの各段階に応じて多くの市民が主体的に参画できる機会を設けることを検討していきます。

○その他(まちづくり全般について)について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	センタービルもしくは元西武内などつくば駅から周辺マンションに帰る途中に立ち寄ることができる場所に大型スーパーではなく、魚店、肉屋、八百屋、豆腐屋、パン屋、お惣菜屋などの小売店を連ねた商店街を整備することで、そこを通れば夕食の買い物が揃ってしまうような帰り道があると需要ができるのではないか。また、スーパーのおかげで経営が悪化している小売店救済にもなるのではないか。	1件	頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
2	センタービルもしくは元西武内に「商店街」を整備するほか、競合しないような違う場所(閉店が多く、心配なキュート)にちょっとお洒落なスーパーを誘致するべきではないか。つくばの市民は食にこだわる人が多いので、需要は高いのではないか。特に「成城石井」は取手駅にあることから、つくばに誘致するのは容易ではないか。	1件	頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
3	つくば市内には多くの音楽家を初め楽器を教える教室、芸術を楽しむ愛好家も存在し、音楽家や楽器を学ぶ生徒が気軽に気持ちよく使える小ホールと練習室を建設することで、芸術水準が上がるのではないか。市民の演奏会、発表会には、ノバホールは広すぎるため、アルスホール、ノバ小ホール、カピオなど音楽演奏を想定していない施設を利用しているところ。近隣の土浦市、牛久市、竜ヶ崎市には、総合的なホールがあるが、つくば市には無いことがとても残念である。	1件	頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
4	つくばは車社会のため、夜の夕食がしづらい。コミュニティーバスの夜間利便性確保や大人が楽しめ	1件	頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。

	る場所をつくることで、中心部に人々がもっと行き交い、精神的にも豊かになるのではないか。		
5	都市交通センターの管理する集中駐車場の利用料金について イベント関係者、観客のために、条件付きで無償化若しくは最大料金を 500 円になるように市民の税金を使わずに人的な努力で対応してほしい。	1件	頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
6	持続可能都市の実現に向けて「さよなら車優先社会」をリードする、ペDESTリアンデッキを軸としたまちづくりの提案 人と人が出会い、超高齢社会に対応する居場所空間を提供するため、中心市街地に繋がる 28 キロにもわたるペDESTリアンデッキに、たくさんのベンチを置き、ペデ沿いに、本屋さん、駄菓子屋さん、パン屋さんなどを誘致してほどうか。また、ペDESTリアンデッキ里親制度を設けることにより、ペデ沿いの住民による小さなイベントや、読書会、茶話会、花いっぱい運動など、市民生活の「足下」から、住民主体のまちづくりを進めることができるのではないか。	1件	「3. (2) 中心市街地まちづくりの重点エリア」において、重点エリア、コアエリアを設定した背景に、ペDESTリアンデッキを骨格としたまちづくりにいかすという考えがあります。頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
7	防災機能の向上に資することを目的としたつくば市無電柱化条例が適用されているつくば駅周辺に関しては、防災拠点になり得る施設への電力ネットワークの強靱化の検討が必要ではないか。	1件	電力供給ネットワークをはじめとした生活を支える重要インフラ等の機能維持は、重要な視点であるため、頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。なお、頂いたご意見を踏まえ、「3. (2) 中心市街地まちづくりの重点エリア」に新たに記述を加えました。
8	つくば中央署は、つくば北署と統合され、つくば署ができ、つくば北署はつくば北警察センターとして残ると聞いた。学園都市の住民	1件	市役所や窓口センターのような行政サービスの窓口機能については、「4. 実現に向けた施策展開」における「プロジェクト1つくばセン

	には、つくば署は少し遠いように感じるし、研究学園駅周辺の地区には市役所、各周辺市街地には窓口センターがあるが、中心市街地にはそのような施設はないことから、不便に感じることもあるので、学園都市に初期から存在する貴重な建造物であるつくば中央署を再活用しこれらの施設を整備したほうが良いのではないか。		タービルリニューアル」に記載しているとおり、その必要性は認識しており、検討していきます。
9	かつて、筑波研究学園都市は、新しいものづくしだったと思うが、今日では、インフラの老朽化などが指摘され、必ずしも新しいものづくしではなくなったと思う。無理に最新を追うのではなく、約 50 年かけて作られた独特の風土を「文化」として広く認め、継承していく必要があることやこのような都市の成り立ちに興味をもっている観光客もいることから学園都市の歴史などを後世に伝える施設などを整備すべきではないか。	1件	頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
10	つくばの特徴的なものの1つに、公務員宿舎が挙げられるが、個人の住宅である、国などの所有物であるなどの理由からか、これまでは機械的に売却され、解体されるばかりだったと思う。しかし、研究所とともに建設され、数年前までは場所を宿舎の番号でよく説明していたほど、学園都市に欠かせなかったものであったし、一般的な団地などとは似ているようで似ていない景観も観光資源になりうると思うので、公務員宿舎は市が関与した上で住宅はもちろん、交流施設や宿泊施設などとして活用することも検討したほうが良いのではないか。	1件	緑豊かでゆとりある国家公務員宿舎はつくばらしい街並みの形成に大きく寄与していると考えています。国家公務員宿舎については、国有財産であることから法令等において処分手続き等が定められており、活用検討には一定の制約がある状況です。頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。
11	中心市街地には、若者があまり集まらないように感じる。そこで、若	1件	頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。

	者が集まり、かつあまり治安を悪化させないものとして、映画館があった方が良いのではないか。民間の施設のため市が関与することは難しいと思うが、クレオの6階には小規模な映画館の施設もある。		
12	10年後につくばエクスプレスの8両化対応が完了する予定となっているが、地下空間整備による周辺の一体化など、連携した取り組みが見えない。 中心市街地の観点から駅の改良設計に働きかけ、さらに市事業などで抜本的ハード対策の取り組みは行わないのか。	1件	地下にある鉄道駅、地上、ペDESTリアンデッキの3層構造になっている駅前空間については、動線上の課題として認識しています。本戦略では、概ね5年間に市が先頭に立って優先的に進める事業を「リーディングプロジェクト」として記述しております。地下空間整備については、既存の地下構造物や建設費等の観点も含め、頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
13	車道空間の削減・道路空間再配分による歩行者空間や公共交通空間の創出への言及がないことには失望した。いつまで大量の自動車交通前提の市街地を前提とするのか。	1件	つくば駅周辺は、ペDESTリアンデッキと大小の公園・広場等のパブリックスペースが整備されていることからこれらをいかした取組を進めていきたいと考えております。また、国土交通省が募集するウォークブル推進都市の趣旨に賛同し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」へと整備していくために、国内外の先進事例の情報共有等を進めています。自動車との共存を図りながら、歩行者と公共交通に優しいまちづくりの実現に向け、頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
14	実現される案は、さまざまな目を通して、粗がとれて美しい案になっていると思うが、街は、雑多なものが混りあって、初めて形成される。雑多な状況を実現するためには、それ相応の仕掛けが必要となることから、たとえば飲食店であれば、店舗面積を小さく、比較的安価な	1件	頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。

	場所にして、入れ替わりが発生するように考えるのも一案ではないか。		
15	過去の都市計画において、駅前の空間が広く取られすぎてしまっていると思うので、都市計画家ヤン・ゲールが言うように、思い切って距離を縮めることが必要ではないか。たとえばBiViとQ'tの間の道路を、思い切って歩行者専用道とし、そこに、常時屋台やカフェなどの出店が並んでいるようにすることで、常に人通りのある場にすることができるのではないか。	1件	つくば駅周辺は、ペDESTリアンデッキと大小の公園・広場等のパブリックスペースが整備されていることからこれらをいかした取組を進めていきたいと考えております。また、国土交通省が募集するウォークブル推進都市の趣旨に賛同し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」へと整備していくために、国内外の先進事例の情報共有等を進めています。自動車との共存を図りながら、歩行者と公共交通に優しいまちづくりの実現に向け、頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。

#### ○その他(まちづくり全般について)

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	案として提示されている内容については、概ね賛成であるが、「2. 将来像とまちづくりのコンセプト(p5)」と「3. 中心市街地におけるまちづくりの基本方針(p6)」を市民にとって分かりやすくするため、ヴィジョンごとの基本方針が分かるように整理し、3つのヴィジョンにタイトルを付けてはどうか。タイトルの案は、「リラックス RELAX × 遊び心 FUN 魅力と驚きが散りばめられ、訪れたいまち」は、「Ⅰ 中心街の資源・ロケーションを活用した賑わいのまち(中央公園 ペデ広場センター広場 大清水公園を結ぶ地域)」、「科学技術の恩恵 Science Technology × 新たな価値の創発 Innovation 科学技術が日常に溶け込み、イノベーションが生み出されるまち」は、「Ⅱ 科学	1件	つくば駅周辺の中心市街地のまちづくりを進めるにあたり、WEB アンケートやオープンハウス、シンポジウムなどを実施し、様々なアイデアをいただきました。皆さまから頂いたアイデアをもとに「中心市街地がこんなまちになる、中心市街地を訪れるとこんなことが出来る」というイメージをまとめたものが中心市街地まちづくりヴィジョンです。ヴィジョンは3つの要素に集約したところですが、これらの3つの要素は、ヴィジョンに基づく持続可能都市の実現方策にどれも欠かせないことから、戦略の方針は3つの要素をすべて踏まえた内容と考えており、現在の表現にまとめました。ご理解いただけますと幸いです。

	技術が市民を豊かにするまち(エキスポセンター及びその周辺)」、「ローカル Local × 持続可能性 Sustainability 地域に根差した持続可能なまち」は、「Ⅲ 市民が主役で活動するまち(センタービル 1階全体)」としてはいかが。		
2	現状・課題・実施事項でプロジェクトを記述しているが、現状(問題)と、課題(問題が生じている原因)が十分に整理されていない。また課題を解決する手段が実施事項になるはずが、課題と実施事項の関連性がおかしいものがある。問題・課題・施策の関係について深掘りし、論理的な整理ができていないのではないか。実施事項を行うことで、課題が解決されるのか、逆側から検証するべき。	1件	頂いた意見を踏まえ点検を行い、「プロジェクト イノベーション拠点の創出」の課題と実施事項の記載を修正しました。
3	プロジェクトが列記されているが、事業着手時期・事業期間・事業完了時期・事業費・事業主体・目指す姿を具体的に示さないと実現可能性が全く見えない。具体的な点への言及がないこの内容であれば三ヶ月程度で出せたのではないか。他都市と比べても、事業立案・実行の速度が遅いと感じる。	1件	「3. 中心市街地におけるまちづくりの基本方針」に示す「重点戦略」(何に取り組むか)と「重点エリア」(どこで取り組むか)を整理し、「4. 実現に向けた施策展開」に概ね今後5年間に市が先頭に立って優先的に進める事業を「リーディングプロジェクト」に位置づけました。「つくば中心市街地まちづくりビジョン」に基づく持続可能と市の実現に向け、「つくば中心市街地まちづくり戦略(つくば駅周辺基本方針)」をもとに、市が「リーディングプロジェクト」に早急に取り組むことで、民間開発や市民主体のまちづくり活動の活発化など多様なまちのプレイヤーとの連携や主体的な活動を誘発してまいります。
4	この戦略の文章から、市民の生活している姿が感じ取れない。一日の時間帯毎、1週間の曜日毎、季節毎、年代ごとのニーズ、求めら	1件	各プロジェクト推進にあたり、様々な市民参加を設けたいと考えております。頂いたご意見は、市民参加の機会等の検討にあたり、今後

<p>れる姿などが想像できるようにできないか。各プロジェクトがそれらにどう寄与するか、いつ、どのような方に寄与するのか、例示してほしい。</p>		<p>の参考とさせていただきます。</p>
--	--	-----------------------

## ■ 修正の内容

### ○ 項目名の変更 について

修正前	修正後
1. はじめに	第1章 つくば中心市街地まちづくり戦略
2. 将来像とまちづくりのコンセプト	(つくば駅周辺基本方針)とは
3. 中心市街地におけるまちづくりの基本方針	第2章 将来像とまちづくりのコンセプト
4. 実現に向けた施策展開	第3章 中心市街地におけるまちづくりの基本方針
5. 戦略の推進に向けた市の考え	第4章 実現に向けた施策展開
	第5章 戦略の推進に向けた市の考え

※パブリックコメントによるものではありませんが、語句を修正しました。

### ○ 第1章 (4)つくば市が求める中心市街地像 について

修正前	修正後
○市議会においても、「つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会」が平成31年2月に設置され、活発な議論を経て、中間報告が12月に取りまとめられました。	○市議会においても、「つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会」が平成31年2月に設置され、活発な議論を経て、中間報告が令和元年12月に取りまとめられ、令和2年3月には、市の戦略案に対し、提言がありました。
○なお、本戦略は、つくば駅周辺の中心市街地を対象としますが、「つくば市未来構想」で定めた「田園都市ゾーン」において「つくば中心市街地地区」と並んで、特に重要となる拠点としてあげられており、副都心としてのまちづくりを進めることとされている「研究学園駅周辺地区」とは、連携してまちづくりを進めていきます。	○なお、本戦略は、「つくば市未来構想」、「つくば市都市計画マスタープラン2015」、「つくば市立地適正化計画」を踏まえ、つくば駅周辺の中心市街地を対象としますが、「つくば市未来構想」で定めた「田園都市ゾーン」において「つくば中心市街地地区」と並んで、特に重要となる拠点としてあげられており、副都心としてのまちづくりを進めることとされている「研究学園駅周辺地区」とは、連携してまちづくりを進めていきます。

※一部は、パブリックコメントによるものではありませんが、語句を修正しました。

○ 第3章 (1) 中心市街地まちづくりの基本方針 について

修正前	修正後
方針1 まちづくりの課題を科学技術で解決する世界のモデルとなるまちづくり	方針1 つくば駅周辺だけでなく、つくば市全体の活力が生み出されるまちづくり
方針2 つくばにしかない街並みや体験を提供するまちづくり	方針2 つくばにしかない街並みや体験を提供するまちづくり
方針3 イノベーションを誘発することで新たなビジネスが生まれるまちづくり	方針3 まちづくりの課題を科学技術で解決する世界のモデルとなるまちづくり
方針4 つくば駅周辺だけでなく、つくば市全体の活力が生み出されるまちづくり	方針4 イノベーションを誘発することで新たなビジネスが生まれるまちづくり

※パブリックコメントによるものではありませんが、市議会からの提言を踏まえ、語句を修正しました。

○ 第3章 (1) 方針1 まちの特徴・資源をいかした視点 について

修正前	修正後
また、市内最大の交通結節点であるつくば駅周辺と市内周辺部をより行き来しやすくすることで、つくばへの来街者や周辺住民の交流を促進し市域全体の活力を創出します。	また、市内最大の交通結節点であるつくば駅周辺と市内周辺部をより行き来しやすくすることで、つくばへの来街者や周辺住民の交流を促進し市域全体の活力を創出します。 <u>更に、つくば駅周辺と市外・海外とのアクセス強化を図ることで、その効果を高めていきます。</u>

※パブリックコメントによるものではありませんが、市議会からの提言を踏まえ、語句を修正しました。

○ 第3章 (1) 方針1 重点戦略 1-1 について

修正前	修正後
1-1-4 つくば駅周辺と市内周辺部のアクセスの強化 商業施設や文化芸術施設等が集積するつくば駅周辺と市内周辺部を結ぶ公共交通の充実、駐輪場・駐車場の利便性向上等により、双方向のアクセス向上を図ります。	1-1-4 つくば駅周辺と市外・市内周辺部のアクセスの強化 商業施設や文化芸術施設等が集積するつくば駅周辺と市外や市内周辺部を結ぶ公共交通の充実、駐輪場・駐車場の利便性向上等により、双方向のアクセス向上を図ります。

※パブリックコメントによるものではありませんが、市議会からの提言を踏まえ、語句を修正しました。

○ 第3章 (1) 方針1 重点戦略 1-2 について

修正前	修正後
<p>1-2-1 つくば駅周辺の都市機能の集積 都市機能の誘導を促進し、来街者や市民、民間事業者へまとまったサービスを持続的・効率的に提供するため、行政機能や商業・オフィスなどの立地を促進する都市計画・建築制度や国等の制度の活用等によるインセンティブの検討を行います。</p>	<p>1-2-1 つくば駅周辺の都市機能の集積 都市機能の誘導を促進し、来街者や市民、民間事業者へまとまったサービスを持続的・効率的に提供するため、行政機能や商業・オフィスなどの立地を促進する都市計画・建築制度や国等の制度の活用等によるインセンティブの検討を行います。<u>特に、買い物や食事によるにぎわいは、駅前の魅力を高めるために重要な要素であることから店舗誘致等の施策の検討も行います。</u></p>

○ 第3章 (2) 中心市街地まちづくりの重点エリア及びコアエリアの設定 について

修正前	修正後
<p>(2) 中心市街地まちづくりの重点エリア</p> <p>中心市街地の「将来像」を実現させていくために、「まちづくりの基本方針」を踏まえ、つくば駅周辺におけるまちづくりの核となる資源であるつくばセンタービルやつくばセンター広場、中央公園、それらを結ぶペDESTリアンデッキで構成され、歩きやすく都市機能が集積したつくば駅から概ね 500 メートルの範囲を「重点エリア」として設定します。また、中心市街地を南北に貫くペDESTリアンデッキである「つくば公園通り」をつくばらしい体験に出会え、中心市街地の回遊を支えるにぎわいやつながりを生む軸として設定します。</p> <p>また、来街者がつくば駅に降り立ち、最初に視界に入る4つの街区に張り巡らされたペDESTリアンデッキを中心とした沿道空間は、「重点エリア」内の移動と滞留の拠点となる空間であり、「コアエリア」として設定します。</p>	<p>(2) 中心市街地まちづくりの重点エリア及びコアエリアの設定</p> <p>中心市街地の「将来像」を早期に実現させていくために、<u>具体的なまちづくりを進めるエリアを設定することで戦略的にまちづくりを進めます。</u></p> <p>○エリア設定の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>投資効率を確保するため、まちづくりの核となる資源(つくばセンタービルやつくばセンター広場、中央公園、それらを結ぶペDESTリアンデッキ)が集積している範囲を考慮し設定します。</u></li> <li>・ <u>中心市街地を南北に貫くペDESTリアンデッキ「つくば公園通り」の軸をいかします。</u></li> <li>・ <u>大規模な土地利用転換などまちの状況に変化が見込まれる範囲を考慮し設定します。</u></li> </ul> <p>○エリア設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>つくば駅から歩行者の回遊が特に期待される概ね 500 メートルの範囲を「重点エリア」として設定します。</u></li> <li>・ <u>来街者がつくば駅に降り立ち、最初に視界に入る4つの街区に張り巡らされた</u></li> </ul>

	<p>ペDESTリアンデッキを中心とした沿道空間は、「重点エリア」内の移動と滞留の拠点となる空間であり、「コアエリア」として設定します。</p> <p>○エリアにおける今後の取組方向性</p> <p>・「つくば公園通り」沿道は、つくばらしい体験に出会え、中心市街地の回遊を支えるにぎわいやつながりを生む軸となるよう様々な機能誘導を促進します。</p>
<p>また、「コアエリア」においては、来街者の移動と滞留の拠点となる空間を形成するために、様々な来街者が訪れることができるよう、駅前にふさわしい都市機能が集積していることが望ましいことから、住宅制限など積極的な誘導方策を検討していきます。</p>	<p>また、「コアエリア」においては、来街者の移動と滞留の拠点となる空間を形成するために、様々な来街者が訪れることができるよう、駅前にふさわしい都市機能が集積していることが望ましいことから、<u>生活を支える重要インフラ等の機能維持や住宅制限など積極的な誘導方策</u>を検討していきます。</p>

○ 第4章の構成 について

修正前	修正後
(1)リーディングプロジェクト	<u>(1)リーディングプロジェクトの全体像</u>
(2)重点エリアとリーディングプロジェクトの全体像	<u>(2)リーディングプロジェクト</u>

※パブリックコメントによるものではありませんが、章立ての順序及び項目名を修正しました。

○ 第4章 (2) リーディングプロジェクトの統合 について

修正前	修正後
プロジェクト3 イノベーション拠点の創出 プロジェクト7 産業振興センターを拠点としたスタートアップ推進	プロジェクト3 イノベーション拠点の創出

※パブリックコメントによるものではありませんが、市議会からの提言を踏まえ、語句を修正しました。

○ 第4章 (2) リーディングプロジェクトの順番 について

修正前	修正後
プロジェクト1 つくばセンタービルリニューアル	プロジェクト1 つくばセンタービルリニューアル

プロジェクト2 つくばセンター広場リニューアル	プロジェクト2 つくばセンター広場リニューアル
プロジェクト3 イノベーション拠点の創出	プロジェクト3 中央公園リニューアル
プロジェクト4 地域と連携したパブリックスペースの活用	プロジェクト4 地域と連携したパブリックスペースの活用
プロジェクト5 中央公園リニューアル	プロジェクト5 官民連携の <u>エリアマネジメント</u> の推進
プロジェクト6 エリアマネジメント団体設立による官民連携のまちづくりの推進	プロジェクト6 つくばの玄関口のおもてなし機能向上
プロジェクト8 つくばの玄関口のおもてなし機能向上	プロジェクト7 イノベーション拠点の創出
プロジェクト9 スマートシティの推進	プロジェクト8 スマートシティの推進

※パブリックコメントによるものではありませんが、市議会からの提言を踏まえ、語句を修正しました。

#### ○ 第4章 (2) プロジェクト7イノベーション拠点の創出 について

修正前	修正後
つくば駅周辺の大街区宿舎跡地については、大規模で駅に近い希少な空間をいかし、研究学園都市の中心にふさわしいイノベーションを誘発する都市機能の誘導に向け、様々な誘導施策を検討します。また、実現に向け土地所有者である関東財務局と処分手法等について協議しながら土地利用を実現していきます。	<u>産業振興センター、つくばセンタービル、つくば駅周辺の大街区宿舎跡地については、新たな価値を生むイノベーションの拠点となるよう、研究者や学生だけでなく、スタートアップと関係のない人も立ち寄れる場づくりを進めることで、自律的にイノベーションが生まれる仕組みを構築します。特に、つくば駅周辺の大街区宿舎跡地については、大規模で駅に近い希少な空間をいかし、住宅だけでなく複合的な都市機能の誘導に向け、様々な誘導施策を検討します。</u>
<p>◇ 現状</p> <p>○ 市内に立地する国家公務員宿舎跡地については、国の処分計画に基づき、段階的な処分が進められており、処分にあたっては、これまでの優れた住環境を保全するため、市は、地区計画等による街並み誘導を行ってきました。</p> <p>○ 今後処分が予定されているつくば駅に近接する吾妻地区の宿舎については、地域の活力の向上につながる、住宅だけではない複合用途について、民間事業者へのヒアリング調査も含め</p>	<p>◇ 現状</p> <p>○ <u>つくば市では市内の各支援機関と連携しながら創業支援を実施しており、市内での創業数は年を追うごとに増加しています。また、先端技術の社会実装支援を通じ、地域課題の解決を図っていく取組も年々行われています。このような取組をさらに強化することで、つくば市に集積された豊富なシーズからイノベーションがより一層誘発され、数多くのスタートアップが生み出される可能性があります。</u></p>

<p>た検討を行っています。</p>	<p>○ 今後処分が予定されているつくば駅に近接する吾妻地区の宿舎については、地域の活力の向上につながる、住宅だけではない複合用途について、民間事業者へのヒアリング調査も含めた検討を行っています。</p>
<p>◇ 課題</p> <p>○ つくば駅周辺は、つくばエクスプレス開通や国家公務員宿舎等の廃止、大規模商業店舗の撤退など環境が変化しています。</p> <p>○ つくば駅周辺は、公共的な土地利用が多いため、民間事業者による立地が限られています。</p>	<p>◇ 課題</p> <p>○ つくば駅周辺は、公共的な土地利用が多いため、<u>スタートアップをはじめ民間事業者のオフィスやミーティングスペースが不足していることからスタとアップの市外流出を招いています。</u></p> <p>○ つくば駅周辺は、つくばエクスプレス開通や国家公務員宿舎等の廃止、大規模商業店舗の撤退など<u>研究学園都市建設時に形成された街並みや都市機能集積等環境が変化しています。</u></p>
<p>◇ 実施事項</p> <p>○ 駅近接の立地をいかしたつくばの新たな拠点形成</p> <p>研究学園都市の研究成果や人材の集積をいかした交流の場や新モビリティサービス、住民サービスのデジタル化など最先端の技術を街区単位で実現できる社会実装の場となるようなイノベーション拠点の形成を目指します。</p>	<p>◇ 実施事項</p> <p>○ 駅近接の立地をいかしたつくばの新たな拠点形成</p> <p>研究学園都市の研究成果や人材の集積をいかした交流の場や新モビリティサービス、住民サービスのデジタル化など最先端の技術を街区単位で実現できる社会実装の場となるようなイノベーション拠点の形成を目指します。<u>先行してリニューアルを進めた産業振興センターについては、国内外のインキュベーション施設等とのパートナーシップを強化し、スタートアップ関係者の呼び込みを図るほか、創業ワンストップサポートや起業セミナーの実施、交流機会の充実を図ります。</u></p>

※一部はパブリックコメントによるものではありませんが、市議会からの提言も踏まえ、語句を修正しました。

## ○ 第5章 戦略の推進に向けた市の考え について

修正前	修正後
<p>○ 市民とのパートナーシップ</p> <p>つくば駅周辺は、市民が生活するうえで重要な場所であり、市民のまちに対す</p>	<p>○ 市民とのパートナーシップ</p> <p>つくば駅周辺は、市民が生活するうえで重要な場所であり、市民のまちに対す</p>

<p>る愛着を持つことができる場所となる必要があります。そのためには、プロジェクトの検討段階から住んでいる人や働いている人など市民と行政がパートナーとして協働することが重要であると考え、プロジェクトの各フェーズに応じて、アンケートやワークショップ等により多くの市民が主体的に参画できる機会を設けることを検討します。また、市民参画の手法についても、セミナー・勉強会など様々な手法で市民意識の醸成に向けて検討していきます。</p>	<p>る愛着を持つことができる場所となる必要があります。そのためには、プロジェクトの検討段階から住んでいる人や働いている人など市民と行政がパートナーとして協働することが重要であると考え、プロジェクトの各<u>段階</u>に応じて、アンケートやワークショップ等により多くの市民が主体的に参画できる機会を設けることを検討します。また、市民参画の手法についても、セミナー・勉強会など様々な手法で市民意識の醸成に向けて検討していきます。</p>
---	--

※パブリックコメントによるものではありませんが、語句を修正しました。